

教科シラバス（国語科）

科目名	現代文B	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		3	2	必履修	一斉・少人数制
使用教科書・副教材・準備物					
新編 現代文B（大修館書店） ・ 漢字ボックス（浜島書店） 国語必携 ライトパーフェクト演習 三訂版（尚文出版）					
科目の概要			学習目標		
近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。			1 様々な文章に触れることで、読む能力や理解力、思考力を伸ばし、国語によって伝え合う力を高める。 2 進んで表現し、読書することによって、社会生活を充実させる態度や生きる力を育てる。		
年間学習プログラム					
	学習内容	学習のねらい			
1学期	1 若い人たちへ 2 社会に生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来の自分の姿や将来の夢について、考えを深める。 ・ 働くことに対する筆者の考えを読み取り、自分の考えを作り上げる。 ・ 社会や仕事、人生について考えるきっかけにする。 			
2学期	3 名作を読む（二）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代文学の名作を味わい、場面の推移や登場人物の心情の移り変わりを読み取る。 ・ 作品を読み深め、自分なりの観点から作品の主題を考える。 			
3学期	4 伝統を受け継ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の古典文学や日本の伝統に対する興味を広げる。 ・ 古典の現代における意味や日本文化の特質について、考えを深める。 			
評価の観点及び内容					
関心・意欲・態度	1 近代以降の様々な文章に対し、関心をもってかかわり、進んで理解・表現しようとしているか。 2 国語や言語文化に対して、意欲をもって取り組み、真剣な態度で学習しているか。	読む能力	目的に応じて、自分の考えを深めながら、様々な文章を的確に読み取ったり、読書に親しんだりする態度が養われているか。		
話す・聞く能力	1 自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立てて話すことができているか。 2 相手の考えを的確に聞き取ることができているか。	知識・理解	1 国語の適切な表現と的確な理解に役立てるため、言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割等を理解しているか。 2 言葉の特徴やきまり、漢字について身に付けた知識を日常生活に生かしているか。		
書く能力	1 自分の考えをまとめたり深めたりしながら、的確な構成に基づいて文章を書くことができているか。 2 相手や目的に応じた適切な文章表現ができているか。				
評価方法及びその他留意事項					
定期考査を主として、各種テスト、学習態度、課題等の提出状況を点数化し、上記5つの観点から総合的に評価する。なお、提出物は期限厳守で確実にし、授業には積極的に参加すること。					